

## 医事法学

責任者・コーディネーター	教養教育センター人間科学科法学分野 廣瀬 清英 講師		
担当講座・学科(分野)	教養教育センター人間科学科法学分野		
担当教員	廣瀬 清英 講師		
対象学年	4	区分・時間数	講義 15.0 時間
期間	後期		

### ・学習方針（講義概要等）

医事法学は、比較的新しい学問の分野であり、その体系や対象範囲について、これまでのところ通説的な見解があるわけではない。この学問は当初、医師法・医療法・衛生法規など医療制度を定めた法律を体系的に扱う「医事法制」から出発したように、専ら医療を提供する医師や医療関係者側の視点から、その業務と責任のあり方を中心に論じられてきた。

しかし、現在の医事法学は医療を受ける側にも基本的視座をおきながら、人の「生老病死」に対し、法がどのように関わっているかを考えることが中心になり、医療事故をめぐる紛争や先端医療が提起する諸問題に対応して「医療過誤」、さらには「生命倫理」なども視野に入れた「医療行為の法」として研究が進められている学問である。

この科目は、第1学年で履修した「法学」や「医療と法律」を基礎とし、その対象を医学・医療に関する法に焦点を絞り、法秩序および当事者の法律関係をより深く探求することを目指す。

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

### ・教育成果（アウトカム）

第1学年で履修した「法学」や「医療と法律」で身につけた、リーガル・マインドやリーガル・リテラシーを用いることで、医事法の視点から医療に関する法制度を体系的に説明できる。

実際の医療事故判例を通じて、医療行為に関する法的問題を指摘できる。

法的知識を取得することで、医療人として必要な法律を身につける。

・到達目標（SBO）

- 1) 医事法が何を目的とし、いかなる価値の実現を意図しているのかを学び、具体的事案においてその理念を実現しようとする「医事法精神」を養う。  
 2) 医療関係者・医療施設・医療衛生などの医療制度の法の概要を理解する。  
 3) 医療契約、説明と承諾の法理、医療文書、医療事故責任などの医療行為の法を理解する。  
 4) 脳死、臓器移植、尊厳死、安楽死、生殖医療などの医療と人権をめぐる諸問題について、その問題の基本的な考え方を学び、理解する。

・講義日程

(矢) 西 104 1-D 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
9/30	水	1	人間科学科法学分野	廣瀬 清英 講師	医事法学序説 医療と医事法学
9/30	水	2	人間科学科法学分野	廣瀬 清英 講師	医療制度の法 医療関係者の法
10/7	水	1	人間科学科法学分野	廣瀬 清英 講師	医療制度の法 医療施設の法
10/7	水	2	人間科学科法学分野	廣瀬 清英 講師	医療制度の法 医療衛生の法
10/14	水	1	人間科学科法学分野	廣瀬 清英 講師	医療行為の法 医療契約の法
10/14	水	2	人間科学科法学分野	廣瀬 清英 講師	医療行為の法 説明と承諾の法理
12/2	水	1	人間科学科法学分野	廣瀬 清英 講師	医療行為の法 医療文書の法
12/2	水	2	人間科学科法学分野	廣瀬 清英 講師	医療行為の法 医療事故責任の法
12/8	火	1	人間科学科法学分野	廣瀬 清英 講師	医療と人権 臓器移植・尊厳死と人権
12/8	火	2	人間科学科法学分野	廣瀬 清英 講師	医療と人権 生殖医療と人権

・教科書・参考書等

教：教科書      参：参考書      推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	医事法学概論 2 版	菅野耕毅 著	医歯薬出版	2004
参	医事法入門 4 版 (有斐閣アルマ)	手嶋豊 著	有斐閣	2015
参	医療六法平成 27 年版	医療法制研究会 監修	中央法規出版	2014
参	医事法判例百選 第 2 版	甲斐克則・手嶋豊 編	有斐閣	2014

・成績評価方法

統合試験になるか、個別試験になるかは現時点で決まっていないが、欠席が3分の1を超えた者への試験への参加を認めないことだけは厳命しておく。

・特記事項・その他

授業は講義形式で行う。講義内容の詳細は講義日程を参照のこと。  
遅刻は原則として欠席扱いとする。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型 PC	1	講義資料の作成、提示